



とんどの炎に無病息災を願う「とんど祭り」  
(長瀬中部区)

振舞われた「七草がゆ」で胃腸の回復を

## 12月定例会

一般質問 9人の議員が問う

2面

鳥取県後期高齢者医療広域連合を東郷庁舎に設置

11面

常任委員会の審議内容

13面

# 9人の議員が問う

# 一般質問ここが聞きたい!!

## 質問議員と主要項目

平成18年12月定例会は、12月12日に開会され、第1日目の12月12日と第2日目の12月13日に一般質問が行われた。質問議員9人が登壇し、町政全般について熱心に議論を展開した。各議員の質問項目、要約は次のとおりである。



12月定例会風景

### 増井議員

- ①要介護認定者に対する「障害者控除認定書」の発行について
- ②障害者自立支援法について
- ③当町の各学校における、いじめや不登校の実態と対処について

### 浦木議員

- ①町文化財の保護活用について
- ②町の行財政について

### 村中議員

- ①19年度予算について
- ②いじめ問題について

※紙面の関係上、増井議員の③の質問は、未掲載とします。

### 光井議員

- ①湯梨浜町小中学校生徒の学力について

### 浜中議員

- ①人材育成基本方針に基づく職員の人材育成について
- ②災害に強いまちづくりの推進について

### 入江議員

- ①行財政改革について

### 吉村議員

- ①健康づくりについて

### 会見議員

- ①自然災害時における住民避難所の安全確認と見直しについて
- ②幼保一元化、教育施設跡地利用に伴う遊具の安全性について

### 竹中議員

- ①文化財の防火対策について
- ②コミュニティバス休止後の対策について

## ①週5日制による学力の影響は

### A 一定の学力は学校で対応



光井哲治議員

実態把握及び対策について伺う。

#### 答弁（教育委員長）

週5日制の導入による学力低下は見られない。授業時間確保のため、長期休業期間の見直し、30人学級導入による個々への手立て、学校行事の見直し、始業式・終業式の授業実施も行っている。学習塾に通っている児童・生徒の調査は正式には行っていないが、学力という観点では役割の一部を担っていることは否定できない。学校でも子どもたちの基礎・基本の定着、学力向上を図るために家庭学習の習慣づけ、朝自習、授業改善などを行い、一定の学力は学校で対応できる工夫を進めている。

「ゆとり教育」への評価は低い。教育基本法の理念ばかり先行して、現場レベルの協議、改革が見えてこない。

また、経済力によって、学力の二極化が進んでいるのではないかと懸念している。経済的格差による子どもの学力格差の問題、塾に通わなくても学ぶ学力低下防止策など、本町の

経済力による学力の格差は考えられない。あるとすれば、現在の子どもたちの多忙化と、教員が多忙で学習に遅れがちな児童・生徒を指導する時間がなくなることが要因として考えられる。



授業風景  
(東郷中学校)

## ②スピード感を持った行財政改革を

### A 集中改革プランを策定 実施する



入江 誠議員

北海道夕張市の様に財政再建自治体とならないよう、もっとスピード感を持った行財政改革が必要だと考えるが、町長の所信を伺う。

#### 答弁（町長）

宮脇町政が発足して、早や2ヶ月が経過した。町長選挙の公約の一つに「行財政改革の継続推進」を掲げられて当選されたが、改革の内容及びスケジュールについて、説明責任が果たされているとは考えにくい。

平成17年11月には、湯梨浜町行政改革大綱が策定され取り組まれているが、実施スケジュールの説明及び実施内容の検証、すなわち、P（プラン）・D（ドゥ）・C（チェック）・A（アクション）が、充分にされていると思われぬ。

実施していきたい。行政改革を進めていく上で、民意を反映しながら実施することは、とても大切なことである。集中改革プランを広報やホームページ等に掲載するなど、住民の皆様への周知に一層の努力をしていきたい。



住民の目線に立った  
機構改革

現在、集中改革プランをとりまとめ中で、平成22年度を目標とし、さらなる行政改革を検討し実

**◎職員の人材育成は  
A創意工夫のできる  
人材を育てる**



浜中武仁議員

の資質向上の推進状況と今後の見通しを伺う。新規採用を控えてこられたが、人材確保という観点では重要だと思う。採用予定を伺う。

答弁(町長)

平成9年、国が示した「人材育成に関する基本方針」については、本町では未策定である。ISOの行政経営の基本方針を改定し、「職員一人ひとりが職務に責任を持ち、創意工夫のできる人材を育成する」ことを掲げた。これを基本方針とし、職員の資質の向上を図り、的確に対応していく。

新町になって、退職勧奨制度導入により、平成18年度末で33人減で213人の職員数となる。若

**◎災害に強いまちづくりを  
A自主防災組織の組織化を図る**

災害発生時、被害を最小限に抑えるために、日頃からの備えと災害発生直後の応急対策を速やかに立ち上げることが大事である。そのためには、

防災体制の見直しを伺う。

答弁(町長)

町内自主防災組織の現状は、羽合地域では2地区を除いて全行政区で組織されている。泊地域では2地区、東郷地域では1地区で組織されている。その他は大部分が自衛消防団の組織である。活動は集落により差異はある

が、消火・避難訓練・救命講習等を実施している。自主防災組織の役割は、住民が日頃から防災訓練、災害時の避難など必要な活動が重要である。未組織集落には、組織化にむけ資料提供や支援を行っていく。自主防災組織運営交付金制度も活用されたい。

広域消防応援体制は、町村合併により構成が異なったが、平成17年12月に消防協定が締結された。要支援者への対応は、社協等とも協議しながら対応していきたい。



ISO内部監査員養成研修

自主防災の組織づくりには、行政による作りやすいく分かりやすい指導や支援が必要だと思う。行政側が具体的な方向性を提示しなければ自主防災の立ち上げは困難だと思うが、町の対応は万全か、取り組み状況を伺う。

他市町との広域的消防応援体制、また、要支援者への対応をするための地域との連携・協力体制の取り組み状況と今後の



羽合消防署

**◎災害時の避難場所の見直しは  
A避難場所は  
地域防災計画の中で指定**



会見祐子議員

地域における防火防災意識の啓発、啓蒙が重要である。本町の取り組みを伺う。

答弁(町長)

現在策定中の地域防災計画の中で避難所については指定する。地震災害については、昭和56年以降建築された施設を指定する。津波については、県沖50kmで西部地震の1.5倍の規模が発生した想定で、津波浸水区域や津波最高水位を考慮し指定していく。洪水時の河川氾濫・浸水については、県が来年度から行う東郷湖浸水想定区域調査の結果を踏まえ、避難所の見直しをする。また、「洪水ハザードマップ」を作成し、町民に広く知らせていく。

災害時における羽合地域の防災マップを見ると冠水危険箇所に指定されている避難所がある。水位の調査、安全性の調査はされているのか。避難場所には、崩落・崖崩れの危険箇所もある。天川の氾濫、東郷池の増水、土流の発生、泊地域などの崖崩れなどシミュレーションを考え、見直しが必要である。また、住民への周知を計り、訓練も大切だと思うが、取り組みはされているのか。

鳥取県女性防火・防災連絡協議会が発足したが、防災活動には女性による

**◎遊具の安全管理は  
A危険性のある遊具は  
撤去や補修**



旧羽合町の防災マップ

住民への周知については、土砂災害防止法に基づき、昨年からは県と町で災害発生が予想される地域を対象に説明会を開催している。防災マップを作成し町民に配布する。

0歳から3歳までの事故は、親と一緒にいるときが8割、その内、親の目前が6割という。

事故は人的、経済的な損失であり、子どもは一生の不幸を背負う。本町にある遊具の安全性を伺う。

泊地域、東郷湖周、羽合公園、各保育所、幼稚

答弁(町長)  
保育所・幼稚園の遊具は、委託による年1回の点検と職員による月2回の点検を実施している。点検により指摘があった遊具は、使用中止や修繕で対応している。各コミュニティ施設の遊具の管理は、昨年全て点検を実施した。結果、桜・花見コミュニティ施設の回転遊具・シーソーを撤去、羽合東・羽合

西コミュニティ施設ではシーソーを使用禁止し、今年度撤去処分した。今後は、危険性のある遊具は撤去や補修など適切な措置を講じたい。

遊具は、遊びを通して自らの可能性を伸ばし、創造性や主体性の向上に必要不可欠なものである。子どもの事故、予防については、日常から適切な管理に努める。



コミュニティ広場の遊具

## 文化財保護に対する考え

### A 町民の誇りとして 次世代に引き継ぐ



竹中寿健議員

指定するために調査されているが、指定までのプロセスと調査進捗状況、町の文化財保護に対する基本的な考えを伺う。

#### 答弁(町長)

尾崎邸の防火対策について、防火用水、防火水槽、消火栓はすでに尾崎邸近辺に設置済みである。防災用として農道の延長は、国指定文化財でありさまざまな協議が必要であるが、事業化が可能なのかよく検討してみたい。

宇野区では、過去の災害・火災等を検証し、自主防災計画「防災うの」を区民総意で決定した。特に火災では、人家が密集している事、道路が狭い事等でほとんど全焼であった。貴重な文化財である尾崎邸や安楽寺の付近で火災が発生した場合、根本的な消火対策は困難である。文化財を守り、後世に残すことは行政の責務である。観光振興も合わせて、ふるさと農道の延長と駐車場を整備することが良策と考えるが、町の考えを伺う。

尾崎邸を国の文化財に

#### 答弁(教育委員長)

平成18年6月に、鳥取環境大学と「尾崎家保存・活用基礎調査」の業務委託契約を行い、現地調査をしている。現在、同大学で報告書を作成中であり、平成19年度早々にも、県を通じて文化庁へ提出していく予定である。

湯梨浜町の豊かな自然・文化遺産を、町民の

誇りとして次世代に引き継いでいくことが必要であり、県教委等とも協議しながら、適切な文化財保護活動を推進していきたい。



尾崎庭園(宇野地区)

## 障害者控除認定書の発行は

### A 本人の申請が必要



増井久美議員

65歳以上の非課税措置の廃止により、非課税から課税になった高齢者の方が多く出た。住民税が課税になると、同時に国保税も介護保険料も連動して上がる事となった。ただし障害者については

所得125万円という非課税限度額は残っている。介護認定を受けている人は障害者控除の対象となるが、自治体の「認定書」が必要である。本町でも、認定書を積極的に発行してもらいたいと思うがどうか。対象となる方に向けて、広報等で情報公開すること、また、関係各課の協力により、本人に通知することはできないか伺う。

#### 答弁(町長)

「障害者及び特別障害者控除」の対象者である方への認定書は、申請による発行としている。確定申告の時期に広報紙、HCVでの放送等、周知に努めているが、昨年は申請を受けて交付したのとはわずかな件数である。本町の要介護1から5までの認定者数は約700人だが、昨年以上に周知に力を入れ、介護保険説明会等で詳しく話をするなど啓発していく。

今後は介護認定を受けられた方、更新された方へ送付される「認定結果通知書」の中に、障害者控除の対象になることを明記した通知文と申請書様式を同封する。確定申告を受け付ける税務課と連携し、関係課相互で情報交換し、協体制度を十分に図る。

## コミュニティバス 休止後の対策は

### A 平成19年度から検討



外出支援サービス事業

コミュニティバスは6月に休止された。最大の理由は利用客の減少で、費用対効果の面から決定されたが、休止する場合、交通弱者のための方策を福祉部門と協議するということであったが、どのようなになっているのか伺う。

社協で要介護者、障害者を対象に移送サービス

が行われていることは評価したい。交通弱者へのサービスとして、倉吉市の地域ボランティア「NPOたかしろ」は2年前に立ち上げられた。また、北栄町でも「乗り合いタクシー」がスタートした。本町として福祉タクシー的なものを運行する考えはないか伺う。

## 障害者自立支援法施行後の対応は

### A 低所得者への 助成制度を設ける

障害者自立支援法施行から2ヶ月が経過した。この法律は作られる前も作られた後も問題を残し、大変批判の多い制度である。この法律によって多くの障害者の方が、必要なサービスを必要とするケースが出てくる。本町においても「実施要綱」という形でこの制度が成立しているが、施行後の影響について実態調査はされているか伺う。

#### 答弁(町長)

10月から完全施行となった障害者自立支援法は、市町村が責任を持って一元的なサービスを提供すること、サービス量に対する一割定率負担・所得に応じた月額上限額の改定

である。原則一割の利用負担により、利用を控える等の影響が出てきているが、常に把握していく。倉吉市は独自の制度を打ち出した。本町においても低所得者への助成制度を設けたい。国は平成19年度及び20年度に向け、利用者負担の軽減策を打ち出しているが、単独施策として、法の完全施行時の10月にさかのぼり対応する。

#### 答弁(町長)

湯梨浜町コミュニティバスは、運行当初から利用客が少なく、運賃を100円に減額するなど、利用客の増加を図ってきたが、乗客増に繋がらず、平成18年6月30日をもって休止したところである。現在、本町では、身体的に虚弱なため一般交通機関を利用できない者(バス停までの歩行が困難・バスの乗降ができない)、あるいは専用の福祉車両でなければ利用できない者を対象に「外出支援サービス事業」を実施しており、平成19年以降も実施する方向で検討を進めている。

また、集落の過疎化、あるいは少子高齢化に対応するため、地域住民の生活に必要な旅客輸送の確保について、平成19年度から検討していきたい。



地域交流での陶芸体験 (ゆりはま大平園作業所)

障害者控除対象者 認定申請書様式

**◎橋津藩倉を国の登録有形文化財に**

**▲現時点では登録を考えていない**



浦木 靖議員

浅川鳥取環境大学教授が調査され、橋津藩倉は全国的にも貴重な遺構であると発表されているが、橋津藩倉を町づくりのために大いに活用すべきだと考える。



橋津藩倉（古御蔵）

「橋津のお倉を考える会」が、藩倉の整備・活

答弁（教育長）

用に関する要望書を提出しているが、その内容についてどう検討されたのか伺う。

答弁（町長）

文化財については町の宝として大切に保存し、その価値をみんなが共有することが大切だと思っている。

「国の登録有形文化財」の制度は、重要文化財等の指定に該当しないものを対象に届出制で指導・助言・勧告を基本とするもので、補助事業はない制度である。国が登録するものだが、県指定文化財の方が格付けとしては上であるとの県の見解もあり、現時点では登録について考えていない。

要望書の中の、古御蔵の修理については、平成17年度県教委の指導を受け実施した。片山蔵は平成14年度に購入し、町有化している。三十間北蔵は所有者・関係者の意見を聞きながら、保護の道を探っていききたい。また、活用については、展示会、講演会と併せて藩倉内部・展示資料の公開を行い、普及啓発に努めたい。

**◎数値目標をもって総合計画を**

**▲毎年検証しながら実施**



第1次湯梨浜町総合計画

町の活性化を図るには、人口増は求め続けなくてはならない。団塊世代の定年退職者に対する取り組みについて、他市町村では都会から田舎に定住してもらうための取り組みがいち早く取られているが、本町ではどうか伺う。

町づくり計画全体に対して、数値による目標計

答弁（町長）

団塊世代の都会から田舎に定住してもらうための取り組みとして、どこに住んでいようと、本町に目を向けて、帰っていただく等の促進策も進めてみたい。例えば、遊休農地や空き家、それらをリンクさせたリターン施策等も考えてみたい。

第1次湯梨浜町総合計画は基本構想、基本計画、実施計画からなり、それぞれ基本構想が10年、基本計画が5年、実施計画は毎年検証していくシステムである。人づくり分野では認定農業者数の増健康づくり分野では検診受診率を5%アップ、環境分野では生ごみの総量5%減等、具体的な数値を示している。これらを毎年検証していきながら、適切な措置を講じていきたい。

**◎平成19年度予算編成方針は**

**▲最少の費用で最大の効果を**



村中隆芳議員

平成19年度予算は、宮脇町長になって初めての予算編成であるが、税収や交付金が減額の方にある厳しい財政状況の中で、事業の選択・予算編成方針を伺う。

町長の5つの政策はどう反映されるのか、「湯梨浜の素材を生かしたまちづくり」の中の「観光ビジョン」はいつ作られ、予算にどう反映されるのか伺う。

平成19年度予算執行に当たって、町民の協力がなければ執行の効果が得られないが、経費削減等誘導するような方法とし

て、新たな奨励制度や表彰制度を考えていないのか伺う。

答弁（町長）

平成19年度においても厳しい財政状況が続くと考えられる。平成19年度当初予算説明会で各課に対し、事業の取捨選択、柔軟な見直しを行い、最少の費用で最大の効果が上がるよう指示した。

「観光ビジョン」の策定は、現在策定委員会のメンバーを人選中であり、早急に立上げ、作業の中で具体的な内容を考えた

奨励制度は「元気なまちづくり事業」、「湯梨浜町がんばる企業応援条例」、また、消防施設整備事業のような補助事業での仕組みもあるが、町

民の協力を得るために、新たな奨励制度も考えてみたい。



平成19年度予算聞き取り

**◎いじめ対策は**

**▲相手を思いやる意識を育てていきたい**

教育長は、いじめに

対して、町内の小・中学生全員に現状を調査すると発言されたが、実施されたのが、その結果はどうだったのか伺う。また、教育委員会としてどう受け止めているか伺う。

国の教育再生会議が「いじめ問題への緊急提

言」として8項目の提言

をされた。賛否両論があるようだが、教育委員会としてどう受け止められたのか。

今後、教員・保護者・教育委員会・地域等の取り組みはどうか展開されていくのか伺う。

答弁（教育長）

アンケート調査結果で、現在・過去においていじめられたことがあると回答した生徒は少なくない。「いじめは常に起こりうるもの」ということを念頭に、保護者との連携をより密にして、いじめ対策の取り組みを充実させていく。

「教育再生会議の緊急提言」は適用が困難で、極めてデリケートな問題であり、対策の難しさ

ここにあり。教育委員会としては、一層きめ細やかな取り組みの充実・早期発見・対応に組み、相手を思いやる意識を育てていきたい。

今後は専門家による鳥取県臨床心理士ケアチームの協力のもと、心理状況調査やカウンセリングの実施、教職員の研修会を実施する。また、保護者のみなさんにも協力をお願いしていく。



カウンセラー室（北浜中学校）

## 健康づくり対策は

### A 予防重視の視点で実施



吉村敏彦議員

町民一人ひとりの健康状態を把握し、適切な指導をするためのシステムづくりが必要と思うが、今後の取り組みは。

#### 答弁(町長)

本町においても主要死因の約7割を占める生活習慣病は、食生活や運動に関わりがある。

町長は、先の町長選挙において、町民の健康増進を図り、医療費を減らし、介護保険料や国保税など町民の負担を減らすと公約された。毎年1億円ずつ増え続ける医療費を減らすためには、医者にかけられないための健康づくり対策を、数値をもって達成させる努力が必要である。

生活習慣を改善させるための取り組みについて、現状と対策は。

病気をチェックするために、検診等の受診率を上げることが必要と思うが、今後の取り組みは。

治療への指導を個別訪問指導に取り組んでいる。町民個々の健康状況の把握やデータ管理など、健康づくり事業・健康診査・医療が一連のプログラムとなって、医療費の削減を目指し、町民負担減をはかっていきたい。



県保健事業団

検診車

## 助役就任

### 第8回臨時会

第8回臨時会が平成18年12月4日に開催された。助役の選任についての議案が提出され、全会一致で原案どおり同意した。



助役 西尾 浩一 氏

#### 助役就任あいさつ

平成18年12月に助役に就任した西尾です。着任早々出席した12月議会で、多くの議員の方々や町長との活発な論戦をお聞きし、地方自治の最前線である町で、非常に活発な議会活動がなされていることに感動しました。

「情報公開」「町民との協働」を標榜する宮脇町長を助け、町議会の厳しい追及にも耐えうる、そして町民の皆さんの目線にあった執行部案を作成すべく努力いたします。ご指導、ご鞭撻賜りますようよろしくお願いいたします。

### 条例改正

☆とまりグラウンドゴルフのふる里公園の設置及び管理に関する条例の一部改正

現在直営で管理している「潮風の丘」を、平成19年度から指定管理制度を導入するため。



グラウンドゴルフのふる里公園

### 補正予算

☆一般会計補正予算

歳入歳出とも2579万4千円減額し、予算総額を87億658万7千円とするもの。

主な内容は、事業費の確定に伴う補正、修繕・工事・委託料など請差による減額、県補助事業費変更等による補正、老人医療費の増額見込みによる老人保健特別会計への繰出金の増額、平成17年度借入分の地方債の利率が借入時において当初予算計上時予想より上昇したため償還利子の増額などである。

☆住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算

歳入歳出とも151万4千円増額し、予算総額を1187万円とするもの。

主な内容は、一件分の貸付金が繰上償還された

ため、歳入の増とそれに伴う地方債の繰上げ償還金の増額などである。

☆国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出とも4045万7千円増額し、予算総額を17億8152万9千円とするもの。

主な内容は、職員の異動に伴う人件費の減額、出産一時金の対象者が増えたことによる増額、老人保健医療費拠出金の増額などである。

☆老人保健特別会計補正予算

歳入歳出とも2億1559万6千円増額し、予算総額を24億614万8千円とするもの。

主な内容は、老人医療費の見込みによる増額補正である。

☆下水道事業特別会計補正予算

歳入歳出とも2459万4千円増額し、予算総額を11億8152万9千円とするもの。

額を12億4508万円とするもの。

主な内容は、公課費として予定納税を含めた消費税を増額、補償移転工事費・管渠漏水調査の追加など事業費を増額、平成17年度借入分の地方債の利率が借入時において当初予算計上時予想より上昇したため償還利子の増額などである。

☆農業集落排水処理事業特別会計補正予算

歳入歳出とも130万円増額し、予算総額を1億6291万8千円とするもの。

主な内容は、消費税の減額、工事等の請差による減額などである。

☆国民宿舎事業特別会計補正予算

支出の事業費用を136万2千円増額し、総額を4億1614万7千円とするもの。

# 第9回 (12月)定例会 議案審議

## 鳥取県後期高齢者医療広域連合を東郷庁舎に設置

平成20年4月1日スタートに向け準備開始

第9回定例会が平成18年12月12日から12月18日までの7日間の会期で開催された。湯梨浜町一般会計補正予算(第5号)、条例の一部改正など提出された12議案は、全て原案どおり可決された。

途退職に伴う給与等の減額及び新規採用に伴う賃金等の増額、空調機器・配管関係の修繕料の計上などである。

## その他

☆鳥取県後期高齢者医療広域連合の設置に関する協議について

健康保険法の改正に伴い、平成20年4月1日から「高齢者の医療を確保する法律」により、75歳以上の高齢者の医療給付を行う後期高齢者医療制度が導入される。この制度は、各都道府県のそれぞれの全市町村が加入する広域連合で事務処理及び施行準備を行うこととされており、平成18年度中に広域連合を設立し、必要な規約を定めるため協議するものである。



鳥取県後期高齢者医療広域連合準備室（東郷庁舎内）

☆花見財産区管理委員の選任について

津嶋 吉信（羽衣石）  
選任する。

☆教育委員会委員の任命について

寺地 政明（宮内）  
任命する。

☆人権擁護委員

尾崎 義人（橋津）  
竹信 照彦（園）  
両名とも適任者と認めらる。

# 委員会活動

## 総務常任委員会

☆12月14日  
第9回定例会提出議題について  
陳情審査について  
（質疑については、常任委員会の審議内容を参照）

## 民生常任委員会

☆12月14日  
第9回定例会提出議題について  
陳情審査について  
（質疑については、常任委員会の審議内容を参照）  
☆1月10日  
介護保険料について  
新年度介護予防事業計画について  
検診自己負担金等の改

定について  
社協の行政財産使用の取扱いについて

## 教育産業常任委員会

☆11月28日  
幼稚園土曜日預かり保育の廃止について  
羽合幼稚園送迎バスの廃止について  
羽合小学校建設工事に伴う家屋被害について  
学校施設、社会体育施設等の使用料金について  
平成18年度町道除雪計画について  
下水道料金について  
中山間地域直接支払事業の取扱いについて  
東郷梨100年事業の決算見込みについて

## 議会運営委員会

☆12月4日  
第8回臨時会について  
第9回定例会について  
☆12月11日  
議員の各種審議会委員等の就任について  
☆1月16日  
平成19年第1回臨時会について

## 行政改革調査特別委員会

☆12月15日  
行政改革実施計画について  
委員会として取り組める事項について



行政改革調査特別委員会

## 議会広報調査特別委員会

☆11月16日  
議会だより第10号の校正について  
☆12月18日  
議会だより第11号の編集担当について

## 民生常任委員会 12月14日

難病特別対策推進事業について、難病患者の両親への精神的な支えはどうか。  
初めてのケースであり、ヘルパーがどうかかわっていくのか、専門性もあり、両親と面談し、ヘルパーも頑張る状況になり実施している。ケア会議を開きメニューを確認している。両親も安心しておられる。

放課後児童クラブの状況は。  
放課後児童クラブは町内に4ヶ所ある。現在は月曜日から金曜日の19時まで実施しており、利用者からは評判が良い。

出先機関（広域連合、町村会、国保連合会、社協など）の件費は請求された金額をそのまま予算に組まないように。公民館運営費など旧町村の違いを拾い出して公平にするべきではないか。

昨年からの問題であり、当然公平にしていきたい。



花見放課後児童クラブ

# 常任委員会 審議内容

## ケーブルテレビ（東郷）調査特別委員会

☆12月4日  
第2回HCV・TCB合併協議会の報告について  
☆12月18日  
第3回HCV・TCB合併協議会の報告について  
☆1月16日  
第4回、第5回HCV・TCB合併協議会の報告について

## 総務常任委員会 12月14日

東郷小学校と北浜中学校のスクールバス運行業務は。  
平成19年4月から20年9月までの1年半で日交、日ノ丸、流通の3社の中で1社を入札により契約する。

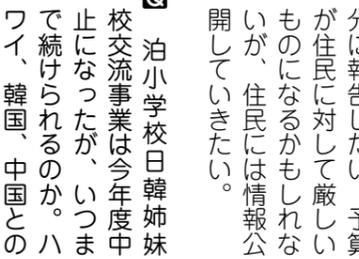


北浜中学校スクールバス

2km未満の通学でもスクールバスを利用したり、バスの定期券補助があると聞か、現状はどうか。  
羽合は半径2kmと決めている。東郷は長和田と藤津が2km未満だがスクールバスを使っている。2km以上の川上は歩いて来ている。

## 総務常任委員会 12月14日

泊は原、宇谷、小浜が2km未満だが定期券の補助を出している。



泊小学校日韓姉妹校交流事業

行政改革の推進についてどうか。  
行革委員会でも集中改革プランの進行管理も具体的に書かないと分からないという意見があった。議会にも十分に報告したい。予算が住民に対して厳しいものになるかもしれないが、住民には情報公開していきたい。

泊小学校の交流は竹島問題で中止になったが、交流はまだ続いている。今はどこを切り、どこを続けるか言えない。平成19年度の予算編成できちんと示したい。

出先機関（広域連合、町村会、国保連合会、社協など）の件費は請求された金額をそのまま予算に組まないように。公民館運営費など旧町村の違いを拾い出して公平にするべきではないか。

昨年からの問題であり、当然公平にしていきたい。

# 陳情審査

12月定例会において常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定した。

件名	陳情者	審査結果
市町村の国民保護計画作成に反対する陳情書	憲法擁護・平和・人権フォーラム鳥取県 代表 国 歳 眞 臣	継続審査
間伐材搬出促進に関する意見書の採択についての陳情書	鳥取県中部森林組合 代表理事組合長 森 下 洋 一	採 択
住民の暮らしを守り、公共サービス拡充を求める陳情書	鳥取県労働組合総連合 議長 田 中 暁	趣旨採択
「保育・学童保育・子育て支援施策の拡充と予算の大幅増額」を求める意見書提出の陳情書	鳥取の保育を考える会 会長 石 井 由 加 利	趣旨採択
安全・安心の医療と看護の実現のため医師・看護師の増員を求める陳情書	鳥取県医療労働組合連合会 執行委員長 熊 谷 春 美	継続審査
地方税制改正に伴う住民負担増の軽減についての陳情	「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動鳥取県実行委員会 実行委員長 村 口 徳 康	趣旨採択
教育基本法改正案の廃案を求める陳情書	「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動鳥取県実行委員会 実行委員長 村 口 徳 康	不 採 択
安心してかかれる医療保障の充実を求める陳情書	「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動鳥取県実行委員会 実行委員長 村 口 徳 康	継続審査
介護保険制度の改善を求める国への陳情書	「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動鳥取県実行委員会 実行委員長 村 口 徳 康	採 択

## 議員発議で政府などに意見書を提出

### ☆ 町村税財源の充実確保を求める意見書

提出先：内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、本県選出衆参両院議員

### ☆ 介護保険制度の改善を求める意見書

提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣

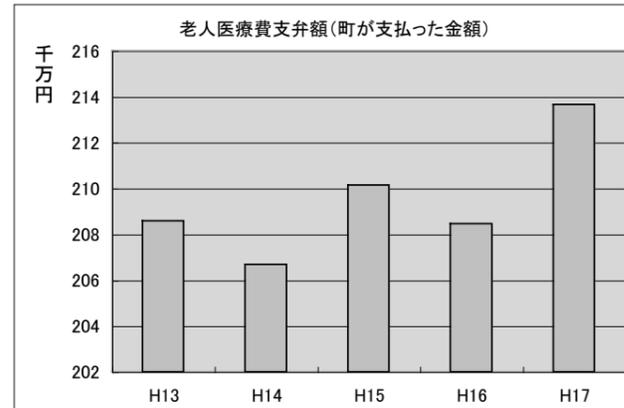
### ☆ 間伐材搬出促進事業の継続を求める意見書

提出先：鳥取県知事、鳥取県議会議長

**Q** 広域入所保育の歯止め努力はしているのか。  
**A** 広域入所は町外から16名、町外へは当初102名が現在90名である。調査の結果、住所のみ本町へ移し、実際は倉吉市に住んでおられる方が20%位あるので精査したい。

**Q** アスベスト調査は前回の調査結果では分らないのか。  
**A** 前回の調査は細かいところまで測定できなかった。基準が1%以下だったのが0.1%以下となり、精密な機械で調査する必要となった。

**Q** 鳥取県後期高齢者医療広域連合の設置について、もう少し制度の内容を分かりやすく説明してほしい。  
**A** 連合準備室でパンフレットを作成し、説明会を行うようにしている。町負担や個人負担などが分かるように、準備室に資料を求めたい。



**Q** 不妊治療費助成制度について、対象者は知っているのか。制度のPRはしているのか。  
**A** 今までは県から直接助成を受けていた。町でも要綱を作成して実施したい。

**Q** 老人医療費が伸びている点について、もう少し詳しく調査する必要があるのではないのか。  
**A** イノシシ被害はどこの地域が多い。50頭が99頭に増えた。尻尾を持ってきていただけでは報償金が出る。

**Q** レセプト点検も効果が上がっており、実態調査も行っている。医療費を減らすには、これからも調査が必要である。  
**教育産業常任委員会**  
**12月13日**

**Q** 浅津地区の下水管渠の状況はどうなっているのか。  
**A** 硫化水素が原因で、コンクリートヒューム管の腐食が進んでいる。管を保護する工法を考えている。調査結果は写真等で示したい。

**Q** 道路新設改良費で、松崎から田畑の東郷川までの道路は本当に必要か。  
**A** 東郷地域の区長より陳情が出て、議会も採択された。全体事業費が10億円で10年計画である。年内には地元説明会を計画している。



下水道管の腐食調査

**Q** グラウンドゴルフのふる里公園の指定管理について、町はどういう係わり方をするのか。主導権はどこがものか。  
**A** 協定の中で、指定管理者運営と町運営のものがある。主導権は指定管理者である。利用料金は変更しない。町は最小限度の委託費を払う。

**Q** 水明荘調理師が数人退職したが、うまく回っているのか。料理の内容は変わっていないか。  
**A** 心配していたが、6名でいい雰囲気できている。料理の内容は変わらない。料理長任せの料理もあり、対応している。女性には評判が良い。

**Q** 旧小学校跡地の各コミュニティ施設管理運営について、どう考えているのか。  
**A** 早く処分したいが、補助金返還の関係があり、なかなか転用ができない。

**Q** コミュニティ施設を全部壊して補助金を返還すると、このまま残して管理していくのと、どちらが良いか検討してみたか。  
**A** 補助金返還が1施設あたり4千万円位かかる、その方が高い。

**Q** 施設を転用する条件も緩和されてきているが、調べてみたか。  
**A** 県教育委員会の話では、町の事業での転用は良いが、民間ではダメである。



花見コミュニティ施設

# 湯梨浜の誇り100選より紹介



1990年に建てられた模擬天守

標高372mの羽衣石山には、1990年に建てられた模擬天守があります。山頂では、虎口（こぐち）跡や曲輪（くるわ）跡も確認されています。現在は公園として整備され、展望台のほか、登山道入り口に駐車場、トイレも完備されています。城跡からは湯梨浜町や日本海が一望できます。

## 羽衣石城跡



水郷祭で披露される 浪人踊

踊りは松崎三区に継承されていたもので、400年の伝統と高い格調を持つ民俗芸能です。この踊りは戦国武士の供養のためのもので、その源流は念仏踊りに発します。現在は、水郷祭で披露され、保存会と子どもが揃いの黒装束に編み笠などを身にまとい、浪人姿で踊りまわります。鳥取県の無形民俗文化財に指定されています。

## 浪人踊

### 議会の傍聴をお気軽に

皆さんが選んだ議員が、どんな活動をしているか、また、身近な問題がどのように処理されているか関心がありませんか。議会の日程などは、議会事務局にお問い合わせください。議会及び議会事務局に関するご意見をお聞かせください。

☎35-5341 メール gikai@yurihama.jp

《あなたの声をお待ちしています》

### 編集後記

平成18年を振り返ってみると、前山本町長、秋田議員との別れ、それに伴う新町長、助役、新議員を迎えての湯梨浜町議会の始動、なかなか重く開かない扉がやつと開いたというような大変あった。ただし歳であったと思います。

12月定例議会は新体制の下に、補正予算を初め、一般質問に9名の議員が登壇し、行政改革、人材育成、防火、防災、健康福祉問題、子どもがいじめ問題など幅広く審議されました。

晩冬の冷たい風の中、自転車で元氣よく登校する中学生と挨拶を交わし、湯梨浜町の宝である子どもたちが、健やかに、安心して成長することを願うのが一日の始まりです。

(記 会見)

議会広報調査  
特別委員会

委員長 竹中壽健  
副委員長 増井久美  
委員 会見祐子  
村中隆芳  
濱中武仁